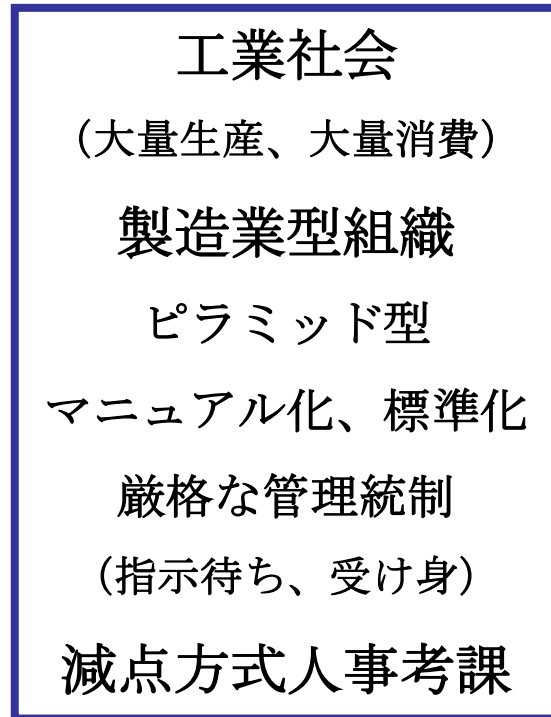
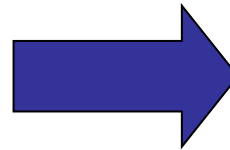
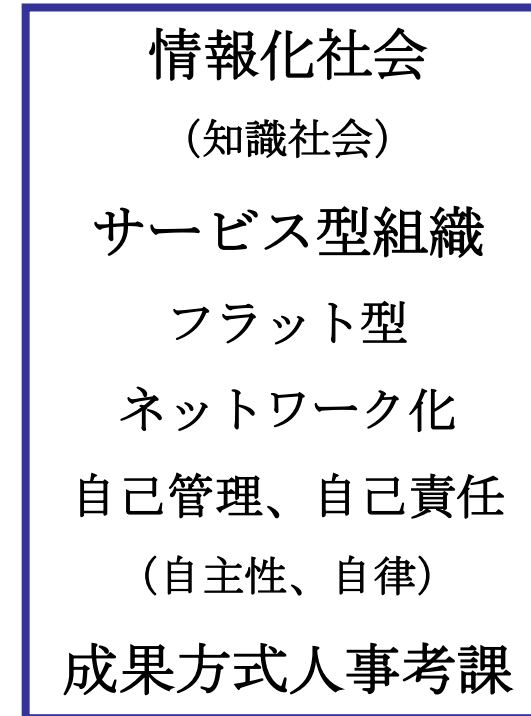


工業・商業社会から情報社会へ(トフラーの第三の波)

第二の波



第三の波



組織への忠誠(ロイヤリティ)

物事を正しく行う人材

終身雇用・年功賃金制度



自分で自分の人生の責任が取れる強い人材
自分で自分の動機付けを行い自己成長する人材

能力主義

階層型組織とフラット組織の意志決定の相違

階層型組織

- ①部下の専門知識を活用し、より適切な判断が可能
- ②部下の時間を活用し、より熟慮を重ねることが可能
- ③自分の方針の下に、大勢の部下に統一した行動をとらせることが可能

フラット型組織

- ①上司からの命令を詳細までブレイクダウンする責任を少ない中間管理者が担う。
- ②中間管理者に、それができるだけマネジメント全般にわたる状況把握と、必要な専門知識の両方が必要
- ③このため、情報の共有化、人材を流動化して必要な専門知識を必要なリーダーが活用できるようにすることが重要

職場で求められる能力

基礎学力

(読み、書き、算数、基本ITスキル等)

社会人基礎力

(コミュニケーション、実行力、積極性等)

専門知識

(仕事に必要な知識や資格等)

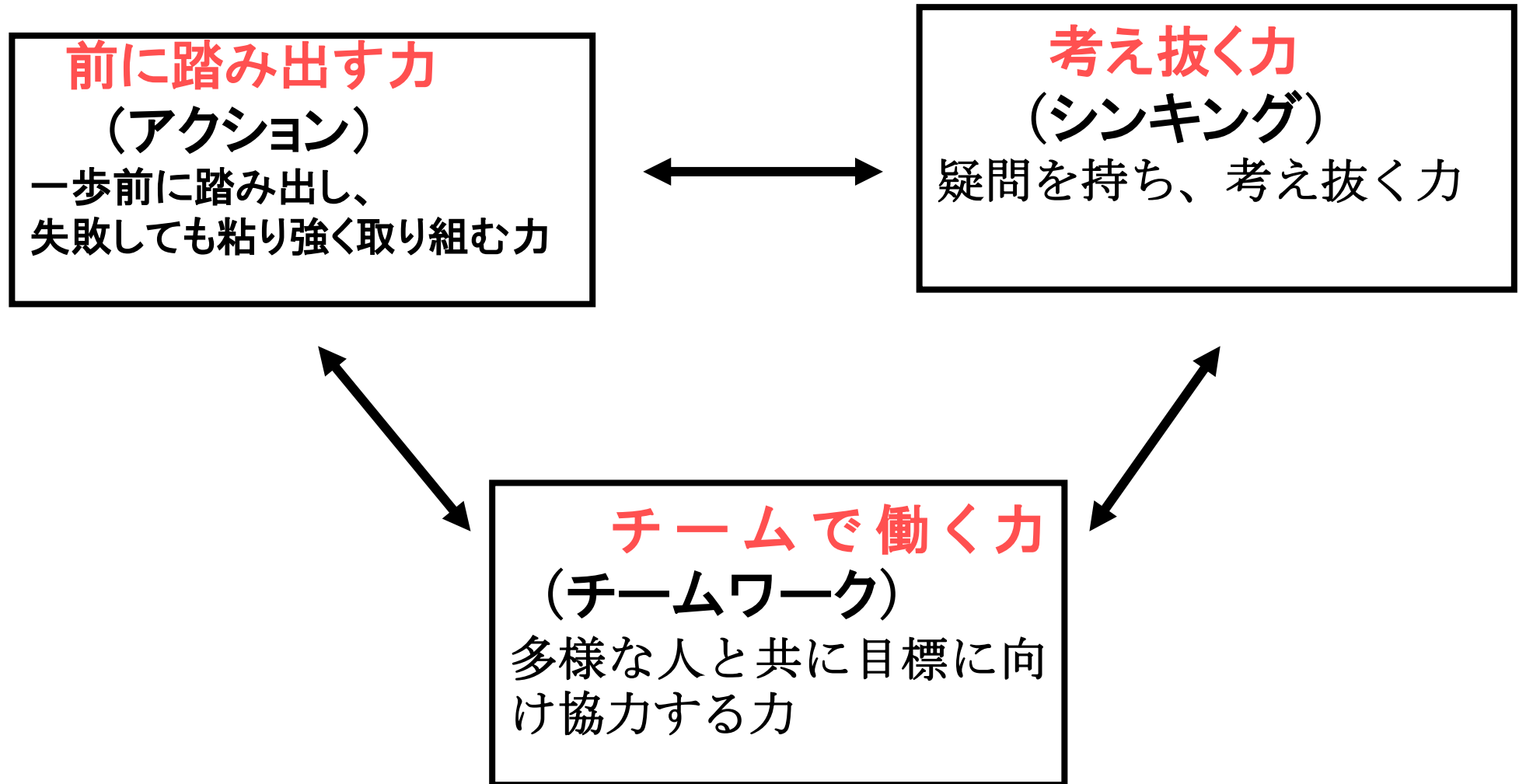
人間性、基本的な生活習慣

(思いやり、公共心、倫理観、基礎的なマナー、身の回りのことをしっかりやる等)

社会人基礎力とは「職場や地域社会の中で多様な人々と仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力」

(経済産業省による定義:平成18年1月)

社会人基礎力を構成する3つの能力



(経済産業省、社会人基礎力に関する研究会「中間取りまとめ」)

能力の概念

能力の概念

ABILITY

COMPETENCE

- ① 知的
- ② 情的
- ③ 動的



要求すれば向上

- ① 知的・・・認識力・感受性
- ② 情的・・・感情的・意欲的
- ③ 動的・・・行動的・動態的



気づかないと向上しない

社会人に求められる能力

- 1 **ビジネスマナー** : 基本であり武器である。
正しい、正しくないは本人が決めることではない。
相手(顧客)が決める。
- 2 **正しい倫理観** : 人間としての一般倫理
組織人としての職業倫理
- 3 **コミュニケーション能力**
- 4 **プレゼンテーション能力**
- 5 **チャレンジ精神、目標達成の執着心**

社会人に求められる能力①・・・ビジネスマナー

仕事を進める上での基本

正しい、正しくないは本人が決めることではない。

相手(顧客)が決める。

① 第1印象 ② 態度、行動 ③ 話し方 ④ 話しの内容

4つの項目の割合は？

・・・マナーは何故必要か・・・

1 マナーは社会人としての責任を果たす基本資質

- 社会人は自分の言動(仕事)に責任が発生
- 自分の言動を相手がどう受け取っているかを常に意識できる感性が必要
(社会人としての基本資質)
- 友人関係、個人的な関係のマナーとビジネスマナーは根本的に異なる。
外に現れているマナー(心)で評価を受ける・・・プロ

2 相手に誤解されないために必要

人は見た目、第1印象で判断されるもの
見た目でマイナス印象を持たれると自分の強みが伝わらない
マナーは自分の強みを発揮するためのツール(武器)

・・・マナーは何故必要か・・・

3 自分の成長、いい仕事のための武器

マナー → コミュニケーション → 信頼関係 → 仕事が基本

- ・マナーの良い人には仕事や情報が集まる。・・・成長
- ・マナー、礼儀のいい人には好感を持ち、仕事を頼みたくなる
.....人情の常
- ・マナーを自分の成長、仕事のやり甲斐、イキイキ度の向上
のための武器・・・と前向きに捉えよう

人間関係

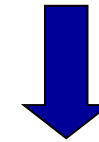
学生生活

自分の好きな人、
気の合う人と付
き合えば良い

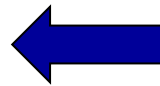


社会人生活

年の違う人、趣味や
関心も違う人、価値
観・主義の違う人



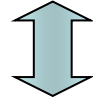
新人の悩みの大半は
人間関係の問題



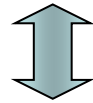
様々な人といやでも付
き合って行かなければ
ならない。

組織と人間関係

組織を作る目的……凡人に非凡なことをさせる。



得意不得意を併せ持った人たちが、その得意なことを出し合って一人ではできない偉大なことをする。



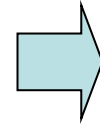
共通の目標のために有機的活動をする人間集団



この人為的な組織は放っておけば容易に分裂、分解、消滅

職場の人間関係

先輩上司



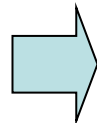
仕事面では・・・師、保護者、監督者

人間的には・・・相談相手、協力者



仕事以外でも自分から近づき、素直に学ぶ
気持ちと機会を持つことが必要

同期



この先40年の同期

良きライバル、友人、協力者



助け合い、励まし合い、学び合い、教え合うことが必要

職場の人間関係

美点凝視の精神



人間関係の和を保つためには、仲間の良さ、長所を見つけ、お互いに活用し合い、愛情を持つこと

鏡の法則



自分の出方で相手の出方が決まる。
自分の周りの人は自分の鏡



職場の人間関係は自分が作り上げるもの！

仕事を進める上での基本

正しい、正しくないは本人が決めることではない。

相手(顧客)が決める。

① 第1印象 ② 態度、行動 ③ 話し方 ④ 話しの内容

4つの項目の割合は？

第1印象・・・55% 話し方・・・38%

挨拶、身嗜み、態度、姿勢で決まる。